PART2「せ」の識別

【識別対象】

1　使役・尊敬の助動詞「す」の「　　」形か「　　」形
2　「　　」の助動詞「き」の「　　」形
3　サ変動詞「す」の「　　」形

接続	基本形	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の型
形	す	**せ**	**せ**	す	する	すれ	せよ	下二型
形	き							特殊型
	動詞「す」	**せ**	し	す	する	すれ	せよ	

〈見分け方〉

1　上が「　　」形（「　　」段）＝助動詞「す」
2　「（「　　」形＋）**せ**　〜　」の「**せ**」＝助動詞「き」
3　「　　」と訳せる「せ」＝サ変

〈例題三〉　傍線部の文法的説明として、最も適当なものを次の選択肢の中からそれぞれ選べ。（重複使用可）

①　いかさまにせむと沈み臥したまへるに…

②　とらへてよませける。

③　夢と知りせば覚めざらましを

④　源氏の物語、人に読ませ給ひつつ…

ア　使役の助動詞「す」　　イ　尊敬の助動詞「す」

ウ　過去の助動詞「き」　　エ　サ行変格活用動詞「す」

①＝　　②＝　　③＝　　④＝

問十一　「男なりせば…」の傍線部の終止形を答えよ。

第8講　PART2　確認問題

①「文字をあらせばや。」の傍線部の文法的説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　サ行変格活用動詞　イ　使役の助動詞　ウ　尊敬の助動詞　エ　過去の助動詞

②「入道殿の大井川に＊逍遥（せうえう）せさせ給ひしに、…」の傍線部の文法的説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

注　逍遥…船遊び

ア　サ行変格活用動詞の未然形　イ　使役の助動詞の連用形
ウ　過去の助動詞の未然形　エ　尊敬の助動詞の連用形

③　傍線部の文法的説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

世の中にたえて桜のなかりせば春の心はのどけからまし

ア　形容詞の連用形＋過去の助動詞の未然形＋接続助詞
イ　形容詞の連用形＋使役の助動詞の連用形＋接続助詞
ウ　形容詞の未然形＋過去の助動詞の未然形＋接続助詞
エ　形容詞の未然形＋使役の助動詞の連用形＋接続助詞

④「手をひき杖をつかせて、…」の傍線部と文法的意味が同じものを、次の中から選べ。

ア「何とせむとす。」

イ「さよふけて寝さめざりせば、…」

ウ それよりみこしは入(い)らせたまふ。

エ 声高(こわだか)にものも言はせず。

⑤ 傍線部には品詞が異なるものが一つあるが、それはどれか。最も適当なものを、次の中から選べ。

ア あさましく対面せで、…

イ 御手にて書かせ給へる、…

ウ 后(きさき)の位(くらゐ)も何にかはせむ。

エ 夜昼(よるひる)思ひて行(おこな)ひをせましかば、…

第８講　ＰＡＲＴ２　解答

〔例題三〕　①エ　②ア　③ウ　④ア

問十一　き

第8講　PART2　確認問題　解答

〔解説〕

① 上にラ行変格活用動詞「あり」の未然形があるので使役の助動詞の「す」。下に尊敬語がないので使役。よって、イが正解。

② 「船遊びをする」と訳せるのでサ行変格活用動詞の未然形。よって、アが正解。

③ 「せば〜まし」の形の「せ」は過去の助動詞「き」の未然形。「なかり」は形容詞「なし」の連用形。よって、アが正解。

④ 傍線部は上にカ行四段活用動詞「つく」の未然形があり、下に尊敬語はないので使役の助動詞。選択肢の中で上に四段活用動詞の未然形があり、下に尊敬語がないのはエのみ。よって、エが正解。

⑤ ア・ウ・エは「する」と訳せるのでサ行変格活用動詞の未然形。イは上に四段活用動詞の未然形があり、下に尊敬語があるので尊敬の助動詞。よって、イが正解。

〔解答〕

①　イ　②　ア　③　ア　④　エ　⑤　イ